



学校法人イーエスピー学園 専門学校 ESP エンタテインメント福岡

2022 年度 学校関係者評価 報告書

(基準日 2023 年 3 月 31 日)

・学校関係者評価の概要

【体制】本校では音楽、芸能等の設置学科に関連する福岡県内の企業と共に、地域活動団体、卒業生を評価委員とした「学校関係者評価委員会」を組織することとします。

【実施方法】学校関係者評価委員会では本校職員で組織する自己評価委員会により作成された「自己評価報告書」に基づき、評価項目である学校の運営状況、教育活動状況、学修成果として卒業生の進路の状況等を報告します。学校関係者評価委員会は報告書の内容を受け、客観的な視点から現状を点検・評価します。

【方針】本校職員以外の学校関係者評価委員会を組織、実施することによって、透明性を高めると共に学校に対しての理解、連携、協力による「改善」を図ることを基本方針とします。

・学校関係者評価委員会

専門学校 ESP エンタテインメント福岡の学校評価実施規程に基づき、次に掲げる区分から校長が委嘱する委員により構成します。

(1) 関連業界等関係者 2名以上

(2) 卒業生 1名以上

(3) 地域活動団体または在校生の保護者 1名以上

- ・松下 典由(合同会社 mou music・関連業界等関係者)：出席
 - ・椎木 辰哉(株式会社スタッフ・関連業界等関係者)：出席
 - ・藤本 正明(特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN・地域活動団体)：出席
 - ・松田 康宏(株式会社ランド・関連業界等関係者)：出席
 - ・前田 涼邑(第3期卒業生)：出席
- 専門学校 ESP エンタテインメント福岡
- ・村本 英之(専門学校ESPエンタテインメント福岡学校長)：欠席
 - ・檉 和男(副校長・教務課音楽アーティスト科)議事進行：出席
 - ・明永 龍騎(総務課)議事録作成：出席

・報告書

学校関係者評価委員よりいただいた意見等の要旨をまとめ本報告書にとりまとめました。

1 教育理念 目的 人材育成像

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

理念・目的・育成人材像は定められているか	4
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

・関連企業から求められる人材、求められる知識技術を十分にヒアリングし、現代社会のニーズに合った目的と育成人物像を設定している。また、それらを学科毎に詳細に設定したことで、より専門分野に特化した内容となっている。同じ音楽芸能分野でありながら学科毎に適性の異なる職種を目指すため、この詳細設定は非常に的を射たものと自負している。

・関連企業との連携により、業界のニーズを取り入れ、配信技術、映像編集、Vtuberに関するセミナーなど新たな取り組みを行った。移り変わりの早い音楽芸能分野の最先端技術・知識を常に取り入れ学生に提供することを一番の特色として実施している。

・社会のニーズに対応するため、分野別実習という学科を越えた選択授業を実施し、学生自らが将来像を描ける特色あるカリキュラムを準備している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

- ・社会の変化のスピードが速く、建学の精神や理念に多少影響もあるかと思えます。学校として社会のニーズに合わせながら、必要とされる人材の育成が求められると思いました。
- ・「AI」などの先進技術と、アナログ的なものの兼ね合いをバランスよく取り扱うことが必要だと思いました。
- ・先進技術によりもたらされる恩恵は素晴らしい。しかしながら、音楽や芸能に関わる物事・歴史を学ぶ中で得られる「経験」は何より大事にしていくべき。

【改善方策等】

- ・ご意見いただいたように、テクノロジーの発展、社会のニーズの変化に適応し、業界をけん引できる人材を育成できるよう努力してまいります。先進技術については様々な意見があるところではございますが、積極的に取り入れていかなければ時代に取り残されると考えております。情報を精査し、活用できるよう環境を整備していければと思います。

2 学校運営

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

理念・目的・育成する人物像に沿った運営方針を定めているか	4
運営方針に沿った事業計画を定めているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化し有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	2
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

・理念、目的、育成する人物像に沿った運営方針を職員会議によって定め、学科部署課毎に経費策定を行っている。全体像が見えたのち事業計画を定め文書化している。

・人事給与制度について改善を実施する予定であったが、導入する動きはあったものの効果的な運用にまでは至っておらず、目に見える形での評価ができるよう特に努めていく。

・入学希望者の個人情報から学生情報である成績出席の管理を各種アプリケーションに集約し、効率化が図られている。

・社内通信環境のインフラについては適宜見直しを行い、より安定した環境の整備に努めている。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

- ・昨年から人事、給与制度の改善が課題となっているが、なかなか難しい面もあると思える一方、改善が進まないことの職員の方への影響が気になりました。
- ・「Google Classroom」の運用が効果的に機能しているように思います。類似したシステムを社内ツールとして使用する企業も多いかと思しますので、卒業後も役に立つのではと思います。
- ・自分が在校中はWi-Fiが繋がりがづらい時などあったが、そこが改善されているのは素晴らしい。

【改善方策等】

- ・ご指摘いただいた通り、人事、給与制度の改善については学園全体で進めておりますが、時間を要しているのが現状です。今年度は学園人事部との連携をさらに深め、早急に改善できるよう特に努めてまいります。また、便利なアプリケーションは多数ありますが、そのサービスを安定して運用するためのインフラの整備ができていないと真価を発揮できません。今後も学生のより良い学習環境をつくっていくためにもコストをかけて整備を行ってまいります。

3 教育活動

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
学科毎に修業年限に対応した教育達成レベルを明確にしているか	4
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
教育課程について外部の意見を反映しているか	4
キャリア教育を実施しているか	4
授業評価を実施しているか	4
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
資格取得に関しての方針は教育課程で明確に位置づけているか	4
資格取得の指導体制はあるか	4
資格要件を備えた教員を確保しているか	4
教員の資質向上への取組を行なっているか	3
教員の組織体制を整備しているか	3

- ・学科毎にディプロマ・ポリシーと教育目標を定め、それに基づきカリキュラムを策定している。

- ・学校関係者評価委員会を毎年実施。それ以外でもインターンシップやオーディションなどで業界とのつながりを強化し、職員が教育界と業界をつなぐ努力を続けている。

- ・昨年度の課題であった講師と職員での情報の共有を強化することで、業界のニーズ、社会情勢を反映した教育課程の編成を柔軟に行うことができた。教育水準をさらに上げられるよう引き続き努力していく。

- ・授業評価について、学生へのアンケートを学科ごとに年2回程実施。学生のストレートな意見を収集し、講師へのフィードバック後、講師への指導やカリキュラムの改善を行った。

- ・資格取得の対策授業を実施し全コースの学生に平等に機会を与えている。

- ・昨年の検討事項であった、外部講師による教員への直接的な指導の機会はいまだ設けられていない。教員の理解を得つつ、試験的に導入していく。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

- ・自分の学科の専門以外の物事について学ぶ授業をカリキュラムに取り入れているのはとても良いと思います。
- ・講師陣の選定により、学生の成長に大きく影響がでると感じましたので、選定の基準(指標)が必要と思えた。一方で講師陣の均質化になってしまえば学校の意味合いが薄らいでしまうので、在校生及び卒業生への丁寧なリサーチが必要と思いました。
- ・学生アンケートは授業が効果的に行われているかの参考になり、年に複数実施しているのは素晴らしい。引き続き行ってほしいと思います。

【改善方策等】

- ・今年度も引き続き、Googleフォームを使用し授業評価を実施していきます。アンケートの結果をもとに教務会などで結果を共有したうえで、教員の選定を行っていましたが、今後は項目ごとに判断基準を設けたうえで、適切な教員配置を行ってまいります。また、外部講師による教員への資質向上に向けた講座を試験的に実施する予定でございます。

4 学修成果

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
卒業生の社会的評価を把握しているか	4

- ・今年度の求人数は385件、就職率は89%と高い水準をキープしている。
- ・1年次の11月に就職に関するキックオフガイダンスを行い、就職に対する意識付けを行っている。音楽芸能スタッフ科だけでなく、就職を検討している学生は学科を問わず全員参加可能。
- ・卒業生の就職先の企業とは連携をとり、卒業生の活躍情報をいただいている。また卒業生に対しても就職情報やオーディション情報を在在学生同様に共有している。
- ・卒業生の就職先の企業や所属先のプロダクションと連携をとり、卒業生の活躍情報をいただいている。また卒業生に対しても就職情報やオーディション情報を在在学生同様に共有している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・業界事情もあり、就職後「タフさ」が求められることがありますが、そこも含めて学べるような工夫を取り入れられているのは、流石、業界に近い学校であると感じます。
- ・多様性理解への意識を高く持つ事が企業にも学校にも大切になってくると思いました。

【改善方策等】

- ・卒業生を送り出した企業とは引き続き連携をとり続けてまいります。現在、学生の就職率は89%と高い水準をキープしておりますが、キャリア教育として多様化する社会の仕組みを学ぶ機会を取り入れ、さらなる就職率の向上に努めてまいります。

5 学生支援

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
退学率の低減が図られているか	4
学生相談に関する体制を整備しているか	3
留学生に対する相談体制を整備しているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4
課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
保護者との連携体制を構築しているか	4
卒業生への支援体制を整備しているか	4

・就職支援のキャリアサポートセクションと、デビュー支援のデビューサポートセクションにより、地域の情報収集はもちろん、東京、大阪に設置する姉妹校の求人情報、オーディション情報の共有を積極的に行い学生に向けてチャンスの拡大を図っている。

・定期的に学生との個別面談を開催し、学生と教職員間で概ね良好な関係を築くことができている。学生から受けた守秘以外の退学等に関する相談事項は、教職員間で共有し改善に向けての対策を検討する体制がある。

・学生の外部イベント実習やライブ活動、ボランティア活動については、公欠願を提出すれば出席扱となる制度を整えている。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

・複雑な悩みを抱えている学生も多くなっていますので、目安箱のようなものを設置してみてはいかがでしょうか。

【改善方策等】

・悩みを抱えている学生の早期発見・対応に努めるため、学生への定期的なストレスチェックを実施する予定でございます。また、いただいたご意見をもとに、学生の意見、要望、相談事などを気軽に投稿できる仕組みづくりを検討してまいります。

6 教育環境

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
学内外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

・実習授業で使用する機材に関しては同業界において、定番から最先端のものまで幅広く設置し考えられる中で最適な環境を提供できている。

・イベントのスタッフ研修参加を中心としたインターンシップ制度を実施している。学生の大きな現場経験になるだけでなく、貴重な職業見学の場となっている。

・今年度、外部イベント研修は学生対象で9回の実施があり、音楽芸能スタッフ科の学生総勢62名が参加した。昨年度の5回より大きく上回る実施回数となった。

・危機管理委員会を設置し、事故・災害発生時の指示系統を明確に定めている。

・全学生を対象とした学生災害傷害保険、学校としては学校賠償責任保険に加入している。また、インターンシップ賠償責任保険等必要に応じた保険に適切に加入している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

・外部研修の実施回数が増えているのは非常に評価できる。実現場を見る機会が多くあるのは素晴らしいと思います。

・海外研修は社会情勢を鑑みつつ、となってしまうとは思いますが、例えば海外研修が難しいのであれば、国内の姉妹校との交流会などを行ってみてはいかがでしょうか。

【改善方策等】

・我々としまでも、即戦力として活躍できる人材を育成するために、在学中における現場での経験は非常に重要であると考えております。引き続きクオリティの高い体験を学生に提供できるよう、各企業様方と連携を深めてまいります。また、海外研修の実施に向けて最善を尽くしてまいります。いただいたご意見をもとに、学園全体として姉妹校との交流ができる機会をつくれるよう検討していきたいと思っております。

7 学生の受け入れ 募集

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4
入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	3
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
経費内容に対し学納金を算定しているか	4
入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	4

・高等学校等の進路説明会へ参加し教育活動等の情報提供を定期的に行っている。

・学生募集活動の重要な位置付けとなるオープンキャンパス開催に関して、開催回数の効果的な設定、体験授業の内容を充実させること、学校説明会の内容を充実させることを常に議論してきた。学校説明会・オープンキャンパスをオンラインで開催するなど、様々な方法で学生との接触の機会を増やしている。

・オープンキャンパス開催時には必ず来校者アンケートを実施、オンラインにおいても、オンラインアンケートを実施し、次回開催に向けてアンケートの内容から問題点があれば検証し改善を行ってきた。

・入学に関しての選考基準を明確に定め、学校案内送付の際に同封する「募集要項」にて明文化している。募集要項に沿った運用を年間通して行ってきた。

・学生募集活動の主要ツールとなる学校案内、募集要項等を作成し、学科毎の教育活動、学習成果等について明確に紹介している。また、ホームページでは学校案内以上の詳細内容を紹介し、あわせてSNSを積極的に活用することで学校生活におけるタイムリーな情報を発信してきた。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・ 学生が入学後にミスマッチを自覚した際のフォローアップが大切だと思いました。

【改善方策等】

・ 入学希望者に向けてはオープンキャンパスや学校説明会を通して学校生活、授業内容などについて詳細に説明しておりますが、それでも入学後にミスマッチを感じる部分が出てくることは少なからずございます。その場合も学生の意見、思いを丁寧にヒアリングし、授業や就学環境で改善できるところは柔軟に対応してまいります。

8 財務

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
教育目標の整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
予算及び計画に基づき適切に執行管理を行っているか	4
私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	4
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか	4

- ・ 自己資金で設備投資を行うなど、過去3年間の財務基盤は安定している。
- ・ キャッシュフロー計算書、学校基本調査表の作成を行っている。今後財務分析を行うことを検討する。
- ・ 事業計画の予算に対して、決算では多少の乖離はある。予算執行にあたっては上申書、立案書などを理事長が最終承認を行う体制を執っている。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・ 主に自己資金による財務運営をなさっているのは素晴らしいと思います。
- ・ 学生が安心して学ぶ為にも、引き続き安定した財務運営を期待します。

【改善方策等】

・ 学生が自身の目標に向けて集中して学べる環境をつくる為に、資金面で安定した財務体質を維持していきます。

9 法令等の遵守

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

法令や専修学校設置基準等を遵守し適正な学校運営を行っているか	4
--------------------------------	---

学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策を実施しているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公表しているか	4
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
学校関係者評価結果を公表しているか	4
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

- ・法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている。
- ・自己評価実施に関して学則に記載し専修学校の義務であることから、開校初年度より実施し公表している。
- ・毎年学生アンケートを実施し、カリキュラムの構築や講師の指導等に役立っている。
- ・学校関係者評価は「学校関係者評価報告書」としてホームページに掲載し、広く社会に公表している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・法令等を順守した運営をなさっているとのことで、引き続き透明性の高い組織運営を期待します。

【改善方策等】

- ・自己評価に続き、学校関係者評価の組織体制を整備し評価を実施しています。今回の評価に基づき改善が必要な事象に対しては、真摯に取り組んでいくことを教職員間で確認しています。この評価は学校関係者評価報告書としてホームページに掲載し、広く社会に公表することとします。

10 社会貢献 地域貢献

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

・市などが開催する音楽イベント等、コロナ禍で中止となっていた行事が徐々に再開されてきたことに伴い、過去積極的に参加してきたイベントに改めて参加できるようになった。また、県内高校の軽音学部活動支援として校内ライブホールの使用提供、学生スタッフの協力等により、エンタテインメント業界を目指す高校生への支援企画等の開催を計画し、実施予定である。

・地域貢献のためのチャリティーライブや公開セミナーを開催。一般の方から広く参加者を募った。

・学内に募金箱を設置し、社会貢献の一環として子ども保護NPO法人等ふたつの団体に寄付をしている。また、募金活動により学生に対して社会貢献の意識付けを行っている。

・ボランティア活動が授業と重なる活動開催日となった場合は、公欠として認め学生が参加し易い状況となっている。

・コロナ禍で中止となっていた、高校からの要請により教育訓練としての楽器実技等レッスンを往訪・来訪にて再開。当校の持つノウハウを高校生に提供している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・「地域貢献」というテーマは企業の運営においても今後ますます大切になっていくと考えております。
- ・今年チャリティーライブの開催を予定しているとのことで、一般向けのイベントを開催していく運びとなっているのは大変すばらしいと思います。
- ・卒業生と在校生の交流イベントなど開催してはいかがでしょうか。卒業後の活動やそこで得たアイデアを話してもらうことで良い刺激となるかと思えます。

【改善方策等】

- ・より良い学校運営は地域の方々のご協力あってのものと考えております。学内の設備を活かしたイベントを開催し、我々の活動を知っていただく機会をつくってまいります。また、ご意見いただきました、卒業生と在校生の交流イベントも、チャリティーライブや学園祭の時期に合わせまして実施していきたいと存じます。